

## 愛知IH 女子4×+艇 ストレッチャーの「クリップ」(六角形インサート)

桑野造船(株)

※愛知IH・女子・4×+のストレッチャーには、以下の機構が採用されています。(注:以下の数値情報は当該艇の場合であり、他のWinTech艇で、ストレッチャーボードのサイズ(上下軸間距離)が異なれば、数値は異なります。また、女子4×+以外の規格艇は従来通りの構造です。)

ストレッチャーボード・下部のクランプ(クリップ)には、六角形のインサートが使われています。



インサートは偏芯させてあり、回転させて高さを変え、ボードの傾斜角を調整する構造です。



六角形のインサート(左)と、クリップ(右)

インサートで調整できる傾斜角は**4通り**です。(回転によるポジションは6通りに変化しますが、下図で、BとF、CとEは、それぞれ高さが同じで、ボードの傾斜角も同じです。BとF、CとEでは、クリップの前後位置が変わるだけです。)

インサートで調整できる調整幅は**約4°**です。(最も傾斜の急なAと緩いDの差が、約4°です)

ポジション	A	B	C	D	E	F
軸の位置						
傾斜の変化	0° / 基準として	-1°	-3°	-4°	-3°	-1°
事例	43° とすると	42°	40°	39°	40°	42°

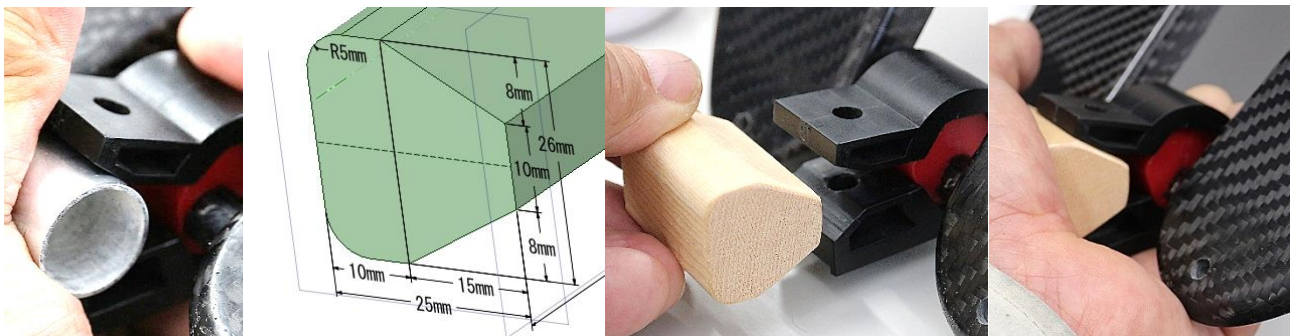
さらに緩い傾斜にしたい、中間傾斜にしたい場合は、クリップと中央ギアレールの間に、(ラチェットランナー、角度調整プレートなどの)スペーサを挟みます。

- ・ラチェットランナー(6mm)による傾斜の増減は、約2.5°です。
- ・角度調整プレート(3mm)による傾斜の増減は、約1.3°です。

### インサートの回し方

(慣れれば素手でも、クリップを開きインサートを回せます)

初めてでも少ない力でインサートを回すには、簡単な道具；①長さ4cmのパイプ(バックステイなどを切って作成)または、②専用の「ウェッジ」(クサビ状木片、下図寸法ご参照)を併用すると便利です。パイプや「ウェッジ」をクリップに差し込み、クリップと合わせて包み握るように入れて押し込みます。



※愛知IHでは、「ウェッジ」を、女子4×+参加各クルーに1個準備(無償提供)させていただく予定です。